

9/26（金）第3回

JR関西本線（加茂以東）沿線
地域公共交通活性化協議会

相楽東部広域バスの利用啓発について

笠置町・南山城村・和束町・京都府

		広域バス	備考
(1)	運行方法	定時定路線 (関西本線と並行)	新たな目標が無ければ 3日/週分の経費を拠出し続けることは困難 (6/26協議会) by JR西日本
(2)	運行日	7日 (協議会4日 + JR3日)	
	運行時間	(平日)6:25～14:35 (土日)8:15～16:05	
(3)	乗車人数	1.032人/便	ダイヤ改正はR6.10に実施済。 低迷する利用率の改善が必要。 →利用促進策を考えよう (6/26協議会)

(1) 当初 (案) … 6/26 時点

①チラシ作成

R6.10のダイヤ改正による早朝便をPR

②動画作成

広域バス+関西本線のPRとなるような動画を作成

③総合時刻表の更新

ダイヤ改正に伴う更新+村タクのエリア拡大（笠置町）等を追記

④中・高校生への調査・啓発

アンケート調査・啓発（中・高）、その他調査（国庫補助と要調整）

(2) 追加 (案) … 9/26 時点

●ラジオによる啓発（KBSラジオ）

→ラジオ番組で、10分間宣伝。

①ラジオで「広域バス」や「関西本線」を啓発

②取材内容をHPへ掲載（写真・ラジオの音声）

【実施候補地】

広域バス（道の駅）、関西本線（笠置駅・大河原駅）

●相楽東部広報誌「れんけい」での公共交通特集

久御山町広報誌を参考

白川・東白川地域公共交通活性化協議会 (岐阜県白川町/東白川村)

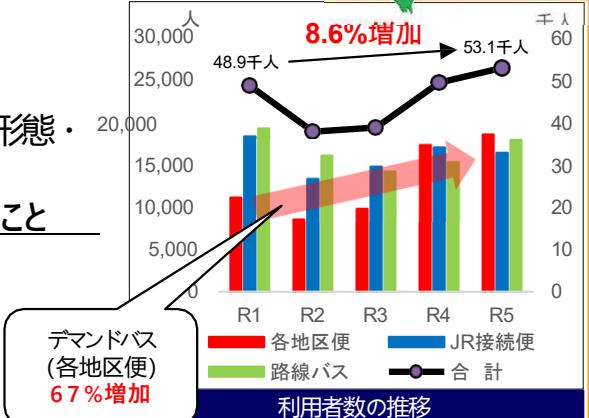


バス運転手不足で高校生の通学が不可能となる危機に対して、町村、交通事業者、住民等が協力して地域の輸送資源を総動員した新たな公共交通ネットワーク「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」を構築。さらに病院バスと公共交通を統合し、経費節減しながら利便性を向上。共創と公共ライドシェアのモデル事例。

(取組の概要)

1. 多様な主体の実質的参画

- 新たな公共交通の検討をする中、白川町内5地区ごとに住民代表による地域部会を設立し、実証運行を実施。運行形態・予約方法等の検討、運転手確保、住民との懇談会や体験乗車会等の啓発活動を、地域部会が主体で取り組む。
- デマンドバスの運行管理・運転業務は事業者に委託。一部車両は地域住民が運転手を担い、事業者の管理下に入ることで運行管理体制を強化。また、小中学校のスクールバスも一体で運行管理し、輸送資源を有効活用。
- R3年2月に白川病院が協議会委員に加わり、名古屋大学仲介のもとで協議を重ね、病院バスを公共交通と統合。
- R3年8月に社会福祉法人による福祉有償運送も運行開始し、身体障害者等の移動手段を確保。
- スポーツ大会やイベントの参加者に公共交通を利用してもらうなど、交通以外の部局とも連携して利用促進を図る。

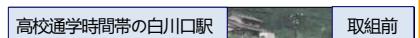


2. 創意工夫

- H30年10月より、新たな公共交通ネットワーク「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」に移行。
- 路線バスを4路線から2路線に再編。結果、運行本数の増加、通学時間帯や土日祝の運行再開につながる。
- 高校生の通学手段確保のため、通学時間帯の違いに着目し、小中学校のスクールバスをデマンドバス（JR接続便）として活用。高校生が利用しやすいように、JR接続便にはスマホ予約を導入。遅い時刻の帰宅便も増便し、利用者が増加。
- 路線バスのフィーダーともなるデマンドバス（各地区便）を導入。バス停まで行けない高齢者等の交通手段確保。
- 専用HPを開設してオペレーターも配置。予約専用番号に電話すれば、各交通モードを組み合わせた最適な移動を手配でき、デマンドバスから鉄道・路線バスへのスムーズな接続等、効率的な運行と利便性の向上を実現。
- 病院バスとの統合にあたり、通院需要に配慮した路線バスダイヤの見直しやバス停位置の変更等により通院の利便増進。また、重複路線が解消し、病院バスの運転手が他業務に従事可能となった。通院患者に1日乗車券を無料配布（病院負担）することで、帰宅時に買物等が可能に。



デマンドバスと路線バスの接続



高校通学時間帯の白川口駅 取組前



自家用車送迎が多いため、駅前が混雑



高校生の多くがバスを使用して混雑緩和

3. 自立性・継続性

- 「みんなで創り・守り・育てる白川町地域公共交通条例」を定め、関係者が協力して地域公共交通を守っていくことを明言。
- 白川町総合計画で「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」の持続まちづくりとの連携を明記。土日の部活動への通学手段不足が中学校統合の障壁になったが、デマンドバス（各地区便）の運行見直しにより確保する等、地域の政策とも連携。
- 各交通モードの合計利用者数はR1～R5で8.6%増加（その間、人口は9.9%減）。
- 運行経費の一部と通院患者に配布する1日乗車券の料金を病院が負担することにより、町の運行経費が節減。
- 懇談会での意見交換や、地域の要望を踏まえたバス停へのベンチの設置等、地域部会の取組も継続。
- 利用実績等をもとに協議会で改善策を議論し、デマンドバスを利用者の多い目的地へ接続する等、見直しを毎年実施。



病院前に到着した路線バス

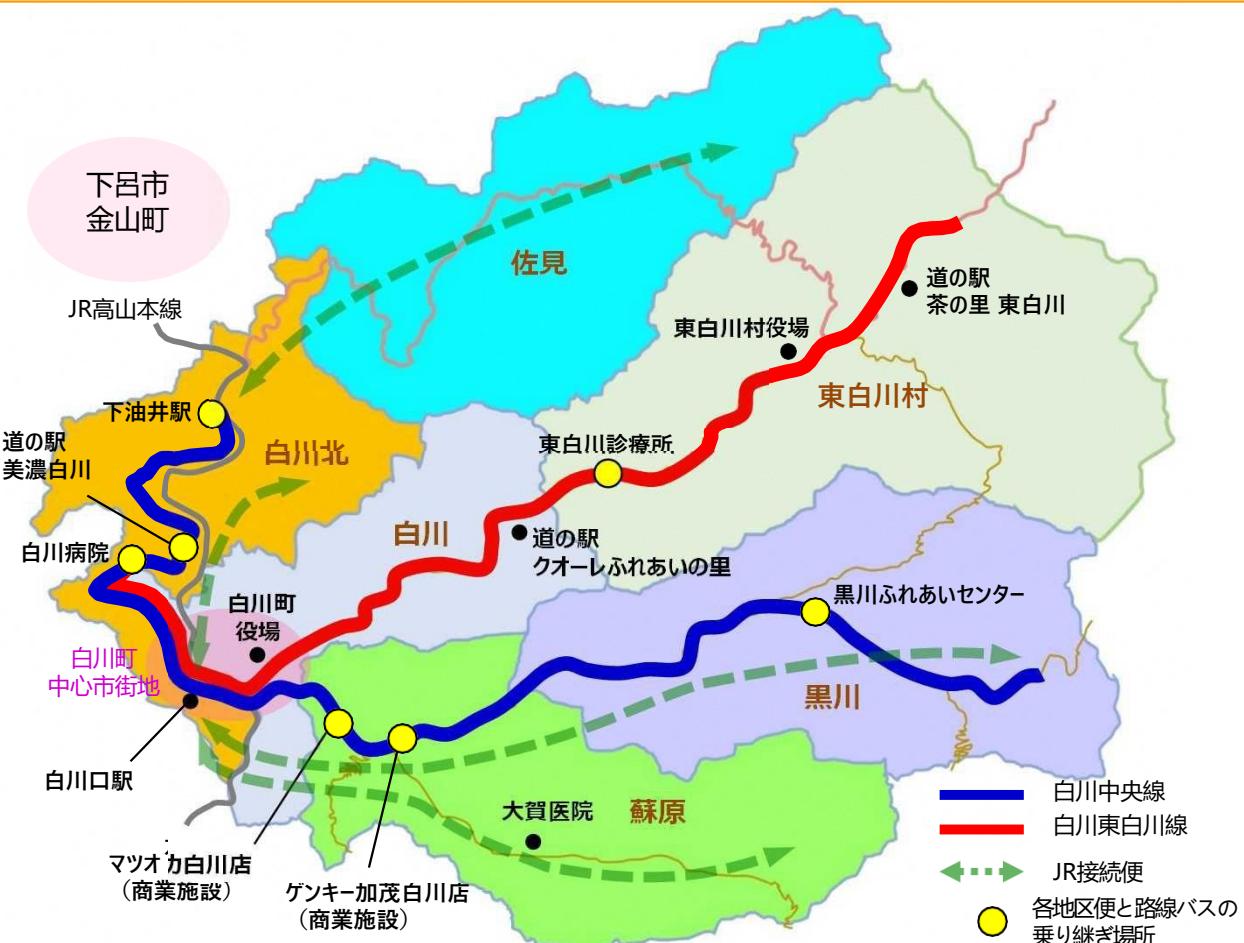
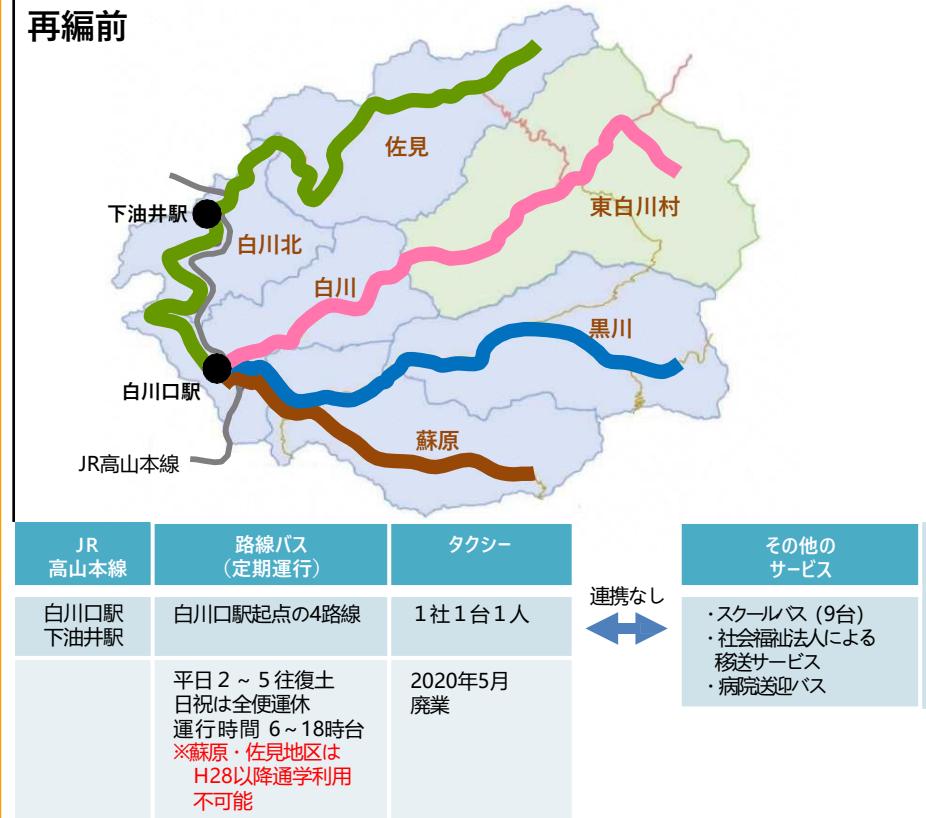


病院バス統合の覚書締結

白川・東白川地域公共交通活性化協議会 (岐阜県白川町/東白川村)

参考: 路線図・位置図

再編前



再編後

JR 高山本線	路線バス (定期運行)	予約制<デマンド>バス (JR接続便)	予約制<デマンド>バス (各地区便)	福祉有償運送 (白川町)	外出支援事業 (東白川村)
白川口駅 下油井駅	2路線 ・白川中央線 ・白川東白川線	地区と駅を直通運行 (白川北・佐見・黒川・蘇原の4地区)	5地区で運行 (白川・白川北・佐見・黒川・蘇原)	社会福祉法人による運行	村営の外出支援バス (無償) を運行
	平日 7~9 往復 土日祝 4 往復半 ※土日祝の運行は 白川東白川線のみ 運行時間 6~20時台	駅着: 6時台 駅発: 17~19時台 ・佐見地区は下油井駅行き ・それ以外は白川口駅行き	・各ノーン内をドアtoドアで運行 ・乗り継ぎ場所で路線バスと接続 ・隣接する下呂市金山町の4施設 (病院・商業施設) も運行範囲	身体障害者等を対象に 町内および近隣市町の 医療機関・福祉施設・ 公共施設・商業施設・ 金融機関等へ個別輸送	高齢者等を対象に村内の通院・買物・福祉 施設送迎、村外の中核病院・透析送迎
		一部の車両は小中学校のスクールバス車両も活用。 スクールバスの運行とデマンドバスの運行を同一事業者が一括的に管理			※外出支援バスに替えて、誰でも利用できる無料の村営バス運行開始予定 (令和6年10月~) 路線バスに接続
		路線バスとデマンドバス (JR接続便・各地区便) の共通1日乗車券を導入			

9/26（金）第3回

JR関西本線（加茂以東）沿線
地域公共交通活性化協議会

相楽東部地域の公共交通政策について

笠置町・南山城村・和束町・京都府

1. 「広域バス」の利用促進策について（再掲）
2. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”、“課題”、“解決策”などの再確認）
3. 「広域バス」について
4. 「村タク」の笠置町へのデマンドエリア拡大について
5. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”達成のための“解決策”の検討）

		広域バス	備考
(1)	運行方法	定時定路線 (関西本線と並行)	新たな目標が無ければ 3日/週分の経費を拠出し続けることは困難 (6/26協議会) by JR西日本
(2)	運行日	7日 (協議会4日 + JR3日)	
	運行時間	(平日)6:25～14:35 (土日)8:15～16:05	
(3)	乗車人数	1.032人/便	ダイヤ改正はR6.10に実施済。 低迷する利用率の改善が必要。 →利用促進策を考えよう (6/26協議会)

(1) 当初 (案) … 6/26 時点

①チラシ作成

R6.10のダイヤ改正による早朝便をPR

②動画作成

広域バス+関西本線のPRとなるような動画を作成

③総合時刻表の更新

ダイヤ改正に伴う更新+村タクのエリア拡大（笠置町）等を追記

④中・高校生への調査・啓発

アンケート調査・啓発（中・高）、その他調査（国庫補助と要調整）

(2) 追加 (案) … 9/26 時点

●ラジオによる啓発（KBSラジオ）

→ラジオ番組で、10分間宣伝。

①ラジオで「広域バス」や「関西本線」を啓発

②取材内容をHPへ掲載（写真・ラジオの音声）

【実施候補地】

広域バス（道の駅）、関西本線（笠置駅・大河原駅）

●相楽東部広報誌「れんけい」での公共交通特集

久御山町広報誌を参考

1. 「広域バス」の利用促進策について（再掲）
2. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”、“課題”、“解決策”などの再確認）
3. 「広域バス」について
4. 「村タク」の笠置町へのデマンドエリア拡大について
5. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”達成のための“解決策”的検討）

「広域バス」の利用率の向上のみで、
相楽東部地域の住民の公共交通による
「おでかけ」は十分なのか？

相楽東部地域の公共交通政策の“目標”について

【目標】 ※計画P29を参考

木津川市エリア（木津駅・加茂駅）、伊賀市エリア（伊賀上野駅・上野市駅）への公共交通を充実させ、住民が公共交通により、「通勤・通学・買物・通院」できる環境を醸成すること。

【理由】

買物・病院施設は、木津川市エリア・伊賀市エリアに集中。相楽東部地域には殆どない状況。

【現状】

（※）笠置町内循環バス、村タク等

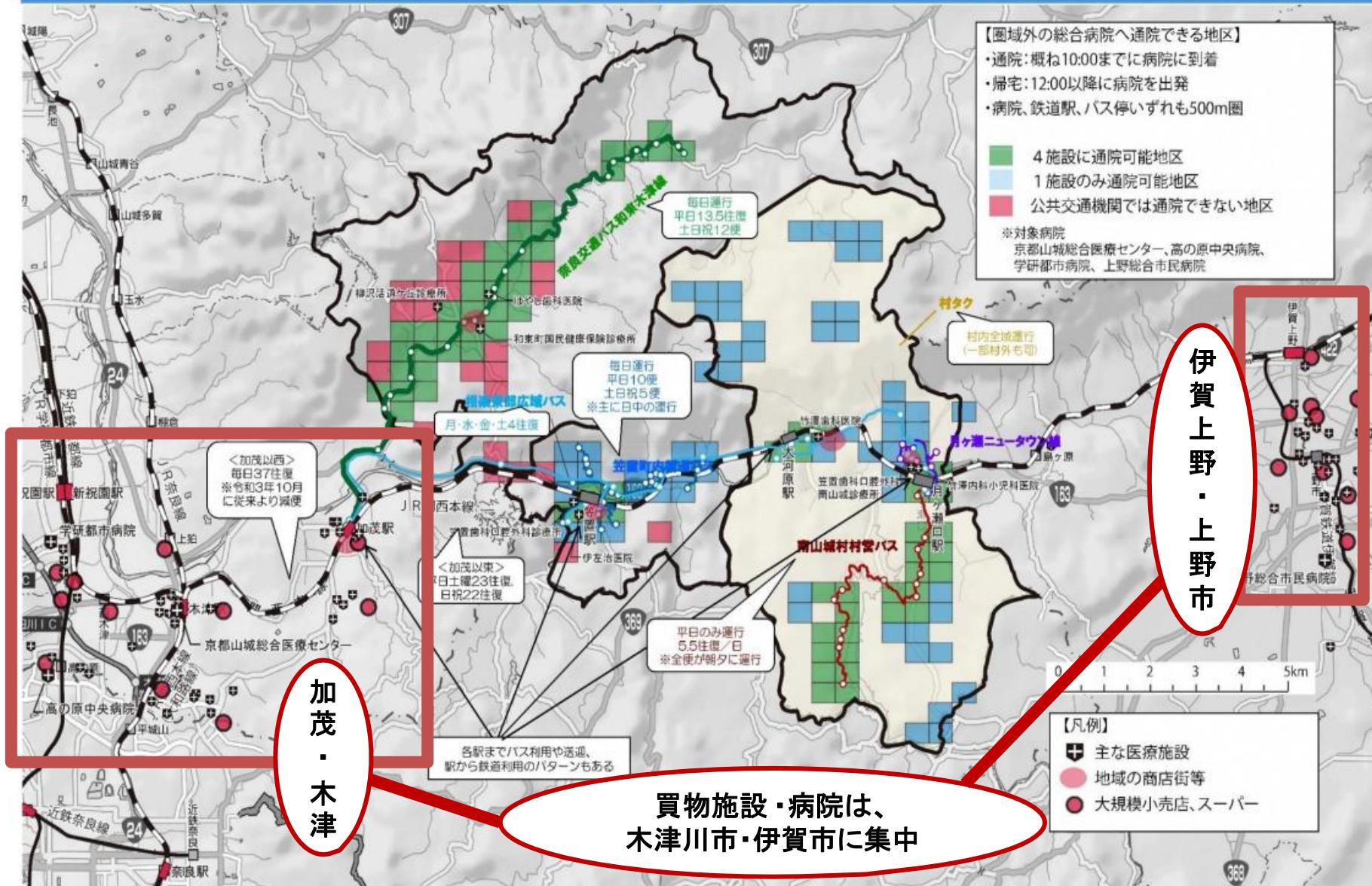
木津川市エリア・伊賀市エリアに行く方法は、「地域内交通（※） + 関西本線 or 広域バス」

【課題】

住民の高齢者率は高く、バリアフリーが不十分な部分もある関西本線を利用できない方もいる。そのため、木津川市・伊賀市に買物・通院に行くには、バリアフリーに優れた交通モードが必要。

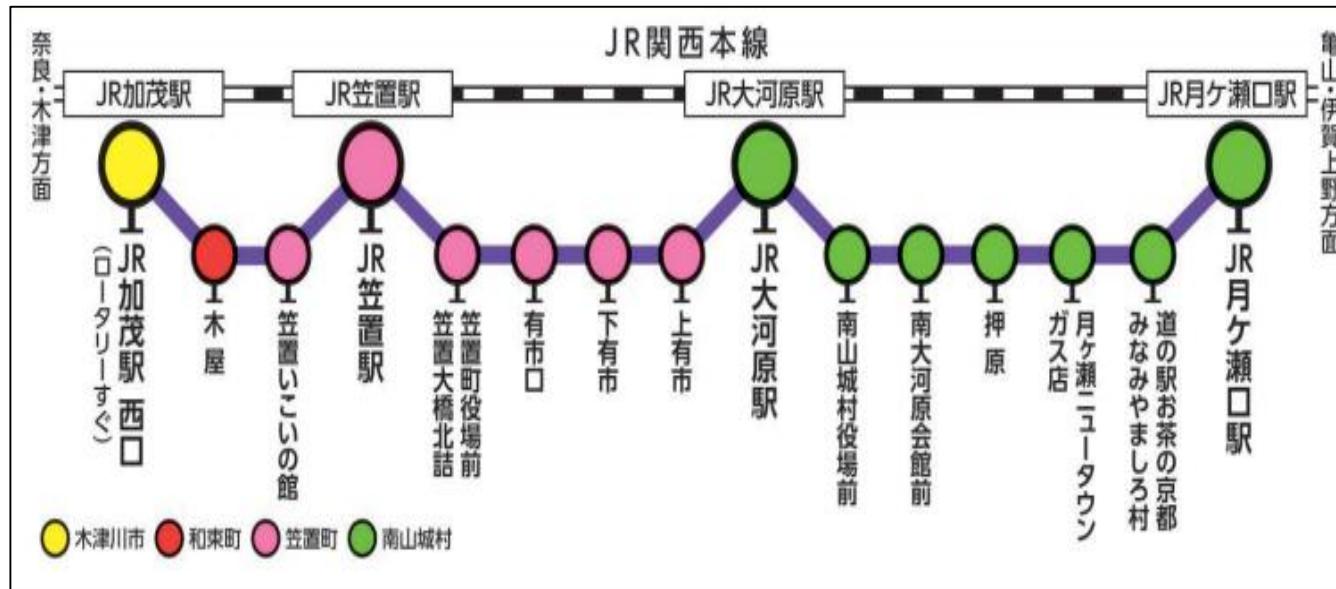
■日常生活交通(通院・買物)の現状

1地区=500m四方メッシュ



相楽東部地域の主要な公共交通について

(1) 基幹交通・・JR関西本線・相楽東部広域バス



● JR関西本線



● 相楽東部広域バス



(2) 地域内交通・・各町村エリアを中心に補足する「デマンド交通」等

● 笠置町内循環バス



● 村タク

(南山城村・木津川市・伊賀市)



● グーチャモ

(和束町)



● Wazcar

(和束町)



【目標】※計画P29を参考

木津川市エリア（木津駅・加茂駅）、伊賀市エリア（伊賀上野駅・上野市駅）への公共交通を充実させ、住民が公共交通により、「通勤・通学・買物・通院」できる環境を醸成すること。

【理由】

買物・病院施設は、木津川市エリア・伊賀市エリアに集中。相楽東部地域には殆どない状況。

【現状】 (※) 笠置町内循環バス、村タク等

木津川市エリア・伊賀市エリアに行く方法は、「地域内交通 (※) + 関西本線 or 広域バス」

【課題】

住民の高齢者率は高く、バリアフリーが不十分な部分もある関西本線を利用できない方もいる。そのため、**木津川市・伊賀市に買物・通院に行くには、バリアフリーに優れた交通モードが必要。**

【解決策】

「広域バス」と「村タク」を組み合わせ、「関西本線」を基軸とした交通体系の構造的な見直し
(バリアフリーに優れた交通モードの充実)

木津川市エリア・伊賀市エリアに
公共交通を充実させるための方法

1. 「広域バス」の利用促進策について（再掲）
2. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”、“課題”、“解決策”などの再確認）
3. 「広域バス」について
4. 「村タク」の笠置町へのデマンドエリア拡大について
5. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”達成のための“解決策”の検討）

【まとめ】(月ヶ瀬口駅→加茂駅)

【早朝1便】・【第1便】・【第3便】については、特に関西本線をサポートしている。

3/4
○

- 【早朝1便】は、月ヶ瀬口駅の場合、1分早く出る電車よりも28分遅く加茂駅に着くため、時間的優位性は低いが、大河原駅・笠置駅から乗る場合、15分遅くとも通勤等で間に合う便が1つ増える。
- 【第1便】・【第3便】は、大河原駅、笠置駅から利用する場合、20分程度遅くとも、木津方面との接続がよいバスに乗れる。この便があることで、加茂駅に、30分早く着くことができる。
- 【第5便】は、月ヶ瀬口を27分早く出るが、加茂駅には後で来る電車よりも1分遅く着き、木津方面の電車も同じ(13:43)。なお、大河原駅、笠置駅には13~9分程電車より早く着く。

	月ヶ瀬口駅：発	大河原駅：発	笠置駅：発	加茂駅：着	木津方面 加茂駅発
○	6 6:24 早1 6:25	1分遅 6:31 6:45	14分遅 6:39 6:57	18分遅 6:47 7:15	28分遅 6:53 7:20
○	7 7:03	7:09	7:18	7:25	7:29
○	8 8:08 1 8:15	7分遅 8:14 8:35	21分遅 8:24 8:47	23分遅 8:31 9:05	34分遅 8:43 9:13
○	9 9:07	9:13	9:21	9:29	9:43
○	10 10:12 3 10:15	3分遅 10:18 10:35	17分遅 10:26 10:47	21分遅 10:34 11:05	31分遅 10:43 11:13
△	11 11:12	11:18	11:26	11:34	11:43
△	12 12:12	12:18	12:26	12:34	12:43
△	5 12:45 13 13:12	27分早 13:05 13:18	13分早 13:17 13:26	9分早 13:35 13:34	1分遅 13:43 14:43
	14 14:12	14:18	14:26	14:34	

【まとめ】(加茂駅→月ヶ瀬口駅)

【第2便】・【第4便】・【第6便】は、特に関西本線をサポートしている。

3/4
○

- △【早朝2便】は、関西本線より加茂・笠置を3~8分早く出て、大河原・月ヶ瀬口に遅く着く。
- 【第2便】、○【第4便】は、加茂から乗った人が笠置に24分早く、大河原に16分早く着ける。
但し、月ヶ瀬口を目指す場合、30分遅い電車より3分早く着くのみ。
- 【第6便】は、加茂駅の40分の電車に間に合わない場合、1時間電車を待たず、1時間後の電車よりも、笠置駅に50分、大河原駅に40分、月ヶ瀬口駅に28分早く着ける。

		加茂駅：発	笠置駅：着	大河原駅：着	月ヶ瀬口駅：着
6	6:52	6:53	7:01	7:10	7:17
7	7:19△ 早2	7:25 8分早	7:39 3分早	7:51 1分遅	8:05 8分遅
8	8:09	8:15	8:24	8:32	
	8:57○ 2	9:10 30分早	9:24 24分早	9:40 16分早	10:00 3分早
9	9:34	9:40	9:48	9:56	10:03
10	10:34	10:40	10:48	10:56	11:03
11	11:04○ 4	11:10 30分早	11:24 24分早	11:40 16分早	12:00 3分早
	11:34	11:40	11:48	11:56	12:03
12	12:34	12:40	12:48	12:56	13:03
13	13:34○ 6	13:40 5分遅	13:48 9分遅	13:56 19分遅	14:03 32分遅
14	14:34	14:40	14:48	14:56	15:03

1. 「広域バス」の利用促進策について（再掲）
2. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”、“課題”、“解決策”などの再確認）
3. 「広域バス」について
4. 「村タク」の笠置町へのデマンドエリア拡大について
5. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”達成のための“解決策”の検討）

■ 村タク 村 MOBILITY

■ ご利用方法

どなたでもご利用いただけます。ご利用の際は
下記の予約先へお電話にてご予約をお願いします。

運行エリア	運行曜日	運行時間
① 南山城村内全域	月～金(平日)	午前6時30分～午後7時
② 南山城村内 ⇄ JR木津駅周辺		
③ 南山城村内 ⇄ 笠置町区域内		
④ 南山城村内 ⇄ 島ヶ原区域内		

ご利用ニーズや
場所によって
配車車両は異なります。



■ 運賃表

村内一律:300円 村外:500円～3,000円

		運賃額	備考
村内移動	(南山城村内全域 ①)	300円/1人	※1 小学生～高校生は村施策による村民利用割引あり(下部参照)
村外移動	(南山城村 ⇄ JR木津駅周辺 ②) (JR木津駅周辺 ⇄ 南山城村 ②)	3,000円/1台	※2 村施策による村民利用割引あり(下部参照)
村外移動	(南山城村 ⇄ 笠置町内 ③) (笠置町内 ⇄ 南山城村 ③) (南山城村 ⇄ 島ヶ原地区内 ④) (島ヶ原地区内 ⇄ 南山城村 ④)	500円/1人	

■ 注意事項とお願い

- 運賃はすべて片道運行の利用料金となります。
 - 村外移動の「JR木津駅周辺」のご利用は前日予約のみの対応とさせていただきます。
 - 「JR木津駅周辺」とは、駅を中心とした半径300m付近とします。詳しくは、予約センター職員へお尋ねください。
 - お釣りの出ないようご協力をお願いします。
 - 1区間の運賃となりますので、目的地以外へ立ち寄る際は、運賃額が加算されますのでご了承ください。
- ※1 村内在住の小学生～高校生は、村施策により、村内移動が200円/1回となります。
- ※2 村内居住者に限り、村外移動(木津)の利用の際は、お一人での乗車に対し、村の施策により2,000円/1台となります。

村タク～笠置町へのエリア拡大～

【事業概要】現在南山城村で運行をしている村タク(公共RS)の運行区域を拡大し、**笠置町内からの移動を可能にする。**
→南山城村地域公共交通会議に、笠置町も参画する形で10月に実施予定。笠置町の住民も参加。

現行

運行エリア	運賃	曜日	運行時間
①南山城村全域	300円/1人	月～金 (平日)	午前6時30分～ 午後7時00分
②南山城村 ↔JR木津駅周辺	3,000円/1台		
③南山城村 ↔笠置町域内	500円/1人		
④南山城村 ↔島ヶ原地区内			



New(追加)

運行エリア(仮)	運賃(仮)	曜日(仮)	運行時間(仮)
①笠置町全域	300円/1人	月～金 (平日)	午前6時30分～ 午後7時00分
②笠置町 ↔JR木津駅周辺	3,000円/1台		
③笠置町 ↔南山城村	500円/1人		
④笠置町 ↔島ヶ原地区内			



1. 「広域バス」の利用促進策について（再掲）
2. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”、“課題”、“解決策”などの再確認）
3. 「広域バス」について
4. 「村タク」の笠置町へのデマンドエリア拡大について
5. 相楽東部地域の公共交通政策について（“目標”達成のための“解決策”の検討）

【目標】 ※計画P29を参考

木津川市エリア（木津駅・加茂駅）、伊賀市エリア（伊賀上野駅・上野市駅）への公共交通を充実させ、住民が公共交通により、「通勤・通学・買物・通院」できる環境を醸成すること。

【理由】

買物・病院施設は、木津川市エリア・伊賀市エリアに集中。相楽東部地域には殆どない状況。

【現状】 (※) 笠置町内循環バス、村タク等

木津川市エリア・伊賀市エリアに行く方法は、「地域内交通 (※) + 関西本線 or 広域バス」

【課題】

住民の高齢者率は高く、バリアフリーが不十分な部分もある関西本線を利用できない方もいる。そのため、**木津川市・伊賀市に買物・通院に行くには、バリアフリーに優れた交通モードが必要。**

【解決策】

「広域バス」と「村タク」を組み合わせ、「関西本線」を基軸とした交通体系の構造的な見直し
(バリアフリーに優れた交通モードの充実)

木津川市エリア・伊賀市エリアに
公共交通を充実させるための方法

「広域バス」と「村タク」の基本情報について

		(1)広域バス	(2)村タク
①	運行方法	定時定路線(関西本線と並行)	デマンド運行
②	運行日	7日(協議会4日+JR3日)	5日(平日のみ)
②	運行時間	(平日)6:25~14:35 (土日)8:15~16:05 8.4時間/日(59時間/週)	(平日)6:30~19:00 (土日)なし 10.5時間(62.5時間/週)
③	便数	8便/日、56便/週 224便/月、2688便/年	18便/日、90便/週 360便/月、4320便/年
④	乗車人数	1,032人/便、2,908人/R6	1.01人/便、4,371人/R6
⑤	乗車時間	月ヶ瀬口駅から加茂駅 40分~50分	月ヶ瀬口駅から加茂駅 20分程度
⑥	バリアフリー	○	◎
⑦	加茂駅 乗入	○	×
	木津駅 "	×	○
	島ヶ原駅 "	×	○
	伊賀上野駅・上野市駅 "	×	×

現在×の部分を全て○にし、両エリアへのおでかけを充実させることが理想

「広域バス」と「村タク」の基本情報について

		(1)広域バス	(2)村タク
①	運行方法	定時定路線(関西本線と並行)	デマンド運行
	運行日	7日(協議会4日+JR3日)	5日(平日のみ)
②	運行時間	(平日)6:25~14:35 (土日)8:15~16:05 8.4時間/日(59時間/週)	(平日)6:30~19:00 (土日)なし 12.5時間(62.5時間/週)
③	便数	8便/日、224便/月、2688便/年	18便/日、360便/月、4320便/年
④	乗車人数	1.032人/便、2,908人/R6	1.01人/便、4,371人/R6
⑤	乗車時間	月ヶ瀬口駅から加茂駅 40分~50分	月ヶ瀬口駅から加茂駅 20分程度
⑥	バリアフリー	○	○
⑦	加茂駅 乗入	○	×
	木津駅 "	×	○
	島ヶ原駅 "	×	○
	伊賀上野駅・上野市駅 "	×	×

現在の仕組みでは、両者は、加茂駅を中心に顧客を取り合う関係にあり、**両立しない**。

→村タクが加茂駅に寄ると、平均乗車人数が1を下回り、フィーダーの補助落ちのリスクが有るため。
そこで、**両者を組み合わせて**、「村タク」が加茂駅に寄れ、かつ、「広域バス」や「関西本線」といった定時定路線へ「乗継」ができる交通体系の構築を検討し、住民が、**両エリアに「おでかけ」しやすい環境整備を目指す。**

⑦木津川市エリア・伊賀市エリアへの乗入の状況について

⑦(1)：「広域バス」の木津駅・島ヶ原駅・伊賀上野駅・上野市駅への乗入

●木津駅

以下①・②の懸念がある（木津川市より）

- 懸念①：加茂駅-木津駅をバスで繋ぐには、鉄道路線の廃線に繋がらないような配慮が必要
- 懸念②：錢司地域や井平尾地域のコミュニティバスと広域バスが競合するため

●島ヶ原駅・伊賀上野駅・上野市駅

広域バスの島ヶ原駅・伊賀上野駅・上野市駅への延伸は既に課題である乗車時間が更に伸びる。また、広域バスの運行コストも増加するため、各町村が負担できるかが課題。

⑦(2)：「村タク」の加茂駅・伊賀上野駅・上野市駅への乗入

- 加茂駅～木津駅は、車で10分
- 月ヶ瀬駅～伊賀上野駅は、車で18分

●加茂駅

広域バスとの関係から現在運行をしていないが、既に木津駅への乗入をしており、加茂駅への乗入も可能。

●伊賀上野駅・上野市駅

既に島ヶ原（伊賀市）へ乗入済。そのため、伊賀上野・上野市駅延伸も検討の余地があるのではないか。

「広域バス」と「村タク」の比較について

		(1)広域バス	(2)村タク	比較結果
①	運行方法	定時定路線 (関西本線と並行)	デマンド運行	
②	運行日	7日(協議会4日+JR3日)	5日(平日のみ)	村タクは土日ない点は課題。
②	運行時間	(平日)6:25~14:35 (土日)8:15~16:05 8.4時間/日(59時間/週)	(平日)6:30~19:00 (土日)なし 12.5時間(62.5時間/週)	広域バスの最終便が12~14時台は課題。村タクが、4.1時間/日、3.5時間/週程多い。
③	便数	8便/日、56便/週 224便/月、2688便/年	18便/日、90便/週 360便/月、4320便/年	村タクが、10便/日、34便/週、136便/月、1632便/年多い
④	乗車人数	1,032人/便、2,908人/R6	1.01人/便、4,371人/R6	広域バスは、定時定路線であるが、1人/1便の状況。村タクの方が1463人/年程多い。
⑤	乗車時間	月ヶ瀬口駅から加茂駅 40分~50分	月ヶ瀬口駅から加茂駅 20分程度	村タクの方が、20~30分早く目的地に着ける。
⑥	バリアフリー	○	◎	村タクは、ドアtoドアであり、広域バスよりバリアフリー
⑦	加茂駅 乗入	○	×	
	木津駅 "	×	○	
	島ヶ原駅 "	×	○	
	伊賀上野駅・上野市駅 "	×	×	

②運行日・運行時間、③運行便数、④乗車人数(平均・年間)

②運行日・運行時間

●運行日：「広域バス」は週7日、「村タク」は週5日。「村タク」は土日の運行がないことが課題。

※村タクの土日運行については、対応検討中。なお、以下①・②の前向きな要素あり。

①事業者協力型の検討

②南山城村に加えて、笠置町も運営団体に加わること。

●広域バスは、1日往復で8便しかなく、カバーできる時間が少ないため、バリアフリー環境が必要な人が「おでかけ」することが難しい。（最終便）月ヶ瀬口駅発：12:45、加茂駅発：13:45

③運行便数

●運行便数

運行方法が違うため、単純比較できないが、「村タク」の方が運行便数は、週あたり34便多い（※）。

※村タクの方が、月あたり約126便多くなり、年あたり約1,512便多くなる。

④乗車人数(平均・年間)

●平均乗車人数

「広域バス」は1.032人/便、「村タク」は1.01人/便であり、「広域バス」の方が0.02人多い状況。

●年間乗車人数（R6）

「広域バス」は2,908人/R6、「村タク」は、4,371人/R6となっており、「村タク」の方が1,463人/年多い。

⑤乗車時間、⑥バリアフリー

⑤乗車時間について、「広域バス」は月ヶ瀬口駅から加茂駅が40～50分、「村タク」は月ヶ瀬口駅から加茂駅まで20分程度の状況。

- 「広域バス」は、運行方法が定時定路線であり、多くの駅に寄る特性上、直通で行く「村タク」と比べて、どうしても時間を要する。
- また、広域バスの所要時間を短くするため、駅の間引きをした場合、10～15分程度短縮できるが、停車駅が関西本線と殆ど変わらなくなるうえに、所要時間もデマンドよりはかかる。

※ルートの再検討（駅の間引き）

利点：10分～15分短縮（それでも関西本線と村タクよりも、10～20分程度遅い）

欠点：停車駅が電車と変わらなくなるため、バスの特性が失われる。

【例】

(35分) 加茂駅～笠置町役場～大河原駅～月ヶ瀬ニュータウン～道の駅～月ヶ瀬駅

(40分) 加茂駅～笠置駅～笠置町役場～大河原駅～道の駅～月ヶ瀬駅（≒現在の早朝2便）

(50分) 加茂駅～木屋～笠置駅～笠置町役場～有市口～下有市～上有市～大河原駅
～南山城村役場～南大河原会館前～押原～月ヶ瀬ニュータウンガス店～道の駅～月ヶ瀬駅

⑥バリアフリーについて

- デマンド交通の方が、ドア to ドアで目的地に行けるため、「広域バス」よりも身障者にとって優しいと言える。
- バリアフリーの観点：村タク > 広域バス >> 関西本線

今後の主な課題について

- (1) 「広域バス」と「村タク」を組み合わせ、「関西本線」を基軸とした交通体系の構造的な見直しについて
→乗継ポイント・乗継時間、乗合率、運行ルートなど、最適な組合せを検討。
- (2) 「村タク」の土日運行について
→事業者協力型などの対応も検討しながら進めたい。
- (3) 運転手不足
→笠置町の「村タク」への参画、事業者協力型等で対応を検討。
- (4) 関西本線の利用者の減少に繋がらない施策にするための検討
→木津川市方面の直通利用の場合は、値段に差をつけること等で電車の利用も促したい。

【参考】「広域バス」と「村タク」のオンピーク一般的な出動台数状況。

	ピーク時間帯	乗車人数	対応可能な運転手	対応可能な車両
広域バス	8~9時	1.4人		
村タク	8~9時	1.0~3.0人	3.0人	3台
笠置町拡大		？人	2.0人	2台
計	8~9時	2.4~4.4+？人	5.0人	5台

※「広域バス」のオンピークは、【第1便】月ヶ瀬口駅→加茂駅(8:15~9:05)の1.4人

村タクについて(再掲)



■ご利用方法

どなたでもご利用いただけます。ご利用の際は
下記の予約先へお電話にてご予約をお願いします。

運行エリア	運行曜日	運行時間
① 南山城村内全域	月～金(平日)	午前6時30分～午後7時
② 南山城村内 ⇄ JR木津駅周辺		
③ 南山城村内 ⇄ 笠置町区域内		
④ 南山城村内 ⇄ 島ヶ原区域内		

ご利用ニーズや
場所によって
配車車両は異なります。



■運賃表

村内一律:300円 村外:500円～3,000円

		運賃額	備考
村内移動	(南山城村内全域 ①)	300円/1人	※1 小学生～高校生は村施策による村民利用割引あり(下部参照)
村外移動	(南山城村 ⇄ JR木津駅周辺 ②) (JR木津駅周辺 ⇄ 南山城村 ②)	3,000円/1台	※2 村施策による村民利用割引あり(下部参照)
村外移動	(南山城村 ⇄ 笠置町内 ③) (笠置町内 ⇄ 南山城村 ③) (南山城村 ⇄ 島ヶ原地区内 ④) (島ヶ原地区内 ⇄ 南山城村 ④)	500円/1人	

■注意事項とお願い

- 運賃はすべて片道運行の利用料金となります。
 - 村外移動の「JR木津駅周辺」のご利用は前日予約のみの対応とさせていただきます。
 - 「JR木津駅周辺」とは、駅を中心とした半径300m付近とします。詳しくは、予約センター職員へお尋ねください。
 - お釣りの出ないようご協力をお願いします。
 - 1区間の運賃となりますので、目的地以外へ立ち寄る際は、運賃額が加算されますのでご了承ください。
- ※1 村内在住の小学生～高校生は、村施策により、村内移動が200円/1回となります。
- ※2 村内居住者に限り、村外移動(木津)の利用の際は、お一人での乗車に対し、村の施策により2,000円/1台となります。

【参考】令和6年10月調査(抜粋) 関西本線と広域バスの比較について

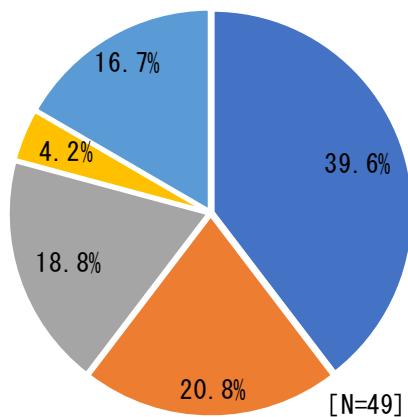
■メリット

	関西本線と比較した際の広域バスのメリット	割合・人数
1	自宅や目的地の近くから利用できる	39.6% =19.11人
2	駅の階段の昇降が不要	20.8% =9.8人
3	悪天候でも運休が少ない	18.8% =9.2人

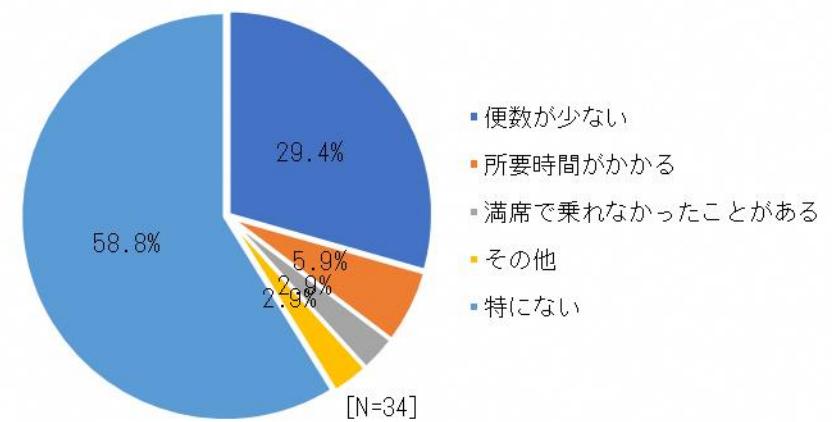
■デメリット

	関西本線と比較した際の広域バスのデメリット	割合・人数
1	便数が少ない	29.4% =9.99人
2	所要時間がかかる (関西本線約23分、広域バス50分)	5.9% =2.0人
3	・満席で乗れなかったことがある ・その他	2.9% =1人

■ダイヤ改定後アンケート(R6.10以降調査)



■ダイヤ改定後アンケート(R6.10以降調査)



今後の協議会のやり方について

今後の協議会議題（11月）【書面】

（1）地域公共交通確保維持改善事業・事業評価
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)について

今後の協議会議題（来年）

（1）次の計画に記載する事項について

（2）「広域バス」と「村タク」を組み合わせ、「関西本線」を基軸とした交通体系の構造的な見直しについて

（3）その他

【報告】

「村タク」の拡大についての状況報告

JR関西本線（加茂以東）沿線
地域公共交通活性化協議会

村タク ~笠置町へのエリア拡大~

【事業概要】現在南山城村で運行をしている村タク(公共RS)の運行区域を拡大し、笠置町内からの移動を可能にする。
→南山城村地域公共交通会議に、笠置町も参画する形で10月に実施予定。笠置町の住民も参加。

現行

運行エリア	運賃	曜日	運行時間
①南山城村全域	300円/ 1人	月～金 (平日)	午前 6 時 3 0 分 ～ 午後 7 時 0 0 分
②南山城村 ⇒JR木津駅周辺	3,000円/ 1台		
③南山城村 ⇒笠置町域内	500円/ 1人		
④南山城村 ⇒島ヶ原地区内			



New(追加)

運賃等については、(案)であり、10/3開催の笠置町・南山城村
地域公共交通会議にて協議予定

運行エリア (仮)	運賃 (仮)	曜日 (仮)	運行時間 (仮)
①笠置町全域	300円/ 1人	月～金 (平日)	午前 6 時 3 0 分～ 午後 7 時 0 0 分
②笠置町 ⇒JR木津駅周辺	3,000円/ 1台		
③笠置町 ⇒南山城村	500円/ 1人		
④笠置町 ⇒島ヶ原地区内			



「交通空白」解消緊急対策事業

【担当部署】
・総合政策局（地域交通課）
・物流・自動車局（旅客課）

何らかの対応が必要な「交通空白」を抱える地域において、「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援します！

補助対象事業者

公共ライドシェア・日本版ライドシェア等、新たに導入する交通サービスの運行主体（運行委託する場合を含む）となる地方自治体、交通事業者、NPO法人、観光協会、商工会、社会福祉協議会等又はそれらを含んだ協議会 ※

補助対象経費

- ①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会・説明会等開催に要する費用
(悉皆ヒアリング調査・利用予測シミュレーション、有識者謝金・会場使用料 等)
- ②サービス提供のために必要となる車両の導入、配車アプリ・運行管理等のシステム開発・導入、運転者募集等に要する費用 (車両の購入・リースによる取得、仕切板、ドライブレコーダー等の設置、運転者を募集するための広告費用 等)
- ③実証事業に要する費用 (運行経費、実証事業後の利用データ分析、路線・区域・料金設定等の検討 等)



【事業イメージ例】以下のような検討段階から地域の合意形成までの取組みについて、ワンストップの支援を想定

- 公共ライドシェア等の導入にあたり、実証運行する地域・時間帯の特定に向けた調査、利用予測シミュレーション 等
- 実証運行の実施体制構築・合意形成に向けた地域内調整
- 実証運行に係る車両・配車アプリ等の導入、車両改装・ラッピング、運転者募集 等
- 実証運行経費・実証運行後の利用データの分析・検証 等
- 本格運行に向けた住民説明会



▲公共ライドシェアの立ち上げ（イメージ）

補助率

500万円まで定額、500万円を超える部分は2/3（上限 1億円）

※車両購入に係る費用については定額補助の対象外（車両購入は、対象事業者自身が有する車両がサービス提供のために活用することができない場合に限る）

※都道府県が主導するなど複数市町村が共同してサービスを提供することを予定している場合、補助対象経費のうち①については定額の引き上げ（上限2,000万円）

※一度本補助を受けた同一自治体内において同一類型の別の事業（別地域での実施）への補助を受ける場合、2件目以降の補助については1／2

問合せ先

各地方運輸局交通政策部交通企画課 等（別紙参照）

公募期間

令和7年3月10日（月）～4月7日（月）

【採択時期目安：令和7年4月中（予定）（先着順）】

※ 既存路線の廃止・減便等を受けた代替交通の導入であって、かつ緊急的な取組の必要性が高いものに限り、先んじて採択を行う場合があります

※応募にあたっては、自治体が「交通空白」と認める地域で実施することが要件となります。

※自治体については、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームに加入していることが要件となります。

笠置町・南山城村地域公共交通会議の設置について

左:現行の南山城村地域公共交通会議の構成員

南山城村地域公共交通会議委員名簿	
分 野	所 属
学識経験者	龍谷大学
住民代表	南山城村区長・自治会長会 南山城村民生児童委員協議会 一般社団法人 南山城村シルハ・人材センター
関連団体等	株式会社南山城 合同会社南山城観光
交通事業者等	南山城村社会福祉協議会 京都府タクシー協会 株式会社キタモリ 三重交通株式会社 三重交通株式会社労働組合
道路管理者	京都府山城南土木事務所 南山城村
公安委員会	京都府木津警察署
運輸行政	近畿運輸局京都運輸支局
行政	京都府山城広域振興局 南山城村
オブザーバー	
行政	京都府建設交通部交通政策課 和束町総務課 笠置町商工観光課 伊賀市交通政策課

右:設置予定の新たな地域公共交通会議の構成員

南山城村地域公共交通会議委員名簿	
分 野	所 属
学識経験者	龍谷大学
住民代表	南山城村区長・自治会長会 南山城村民生児童委員協議会 南山城村社会福祉協議会 笠置町区長会 笠置町民生児童委員協議会 笠置町社会福祉協議会
関連団体等	株式会社南山城 一般社団法人 南山城村シルハ・人材センター
交通事業者等	京都府タクシー協会 株式会社キタモリ 三重交通株式会社 三重交通株式会社労働組合 奈良交通株式会社 奈良交通株式会社労働組合
道路管理者	京都府山城南土木事務所 南山城村建設環境課 笠置町建設産業課
公安委員会	京都府木津警察署
運輸行政	近畿運輸局京都運輸支局 京都府山城広域振興局 南山城村 笠置町
行政	京都府建設交通部交通政策課 和束町まちづくり応援課 伊賀市公共交通課

現状の村タクの運行の仕組み



ご利用方法

どなたでもご利用いただけます。ご利用の際は
下記の予約先へお電話にてご予約をお願いします。

運行エリア	運行曜日	運行時間
① 南山城村内全域	月～金(平日)	午前6時30分～午後7時
② 南山城村内 ⇄ JR木津駅周辺		
③ 南山城村内 ⇄ 笠置町区域内		
④ 南山城村内 ⇄ 島ヶ原区域内		

ご利用ニーズや
場所によって
配車車両は異なります。



運賃表

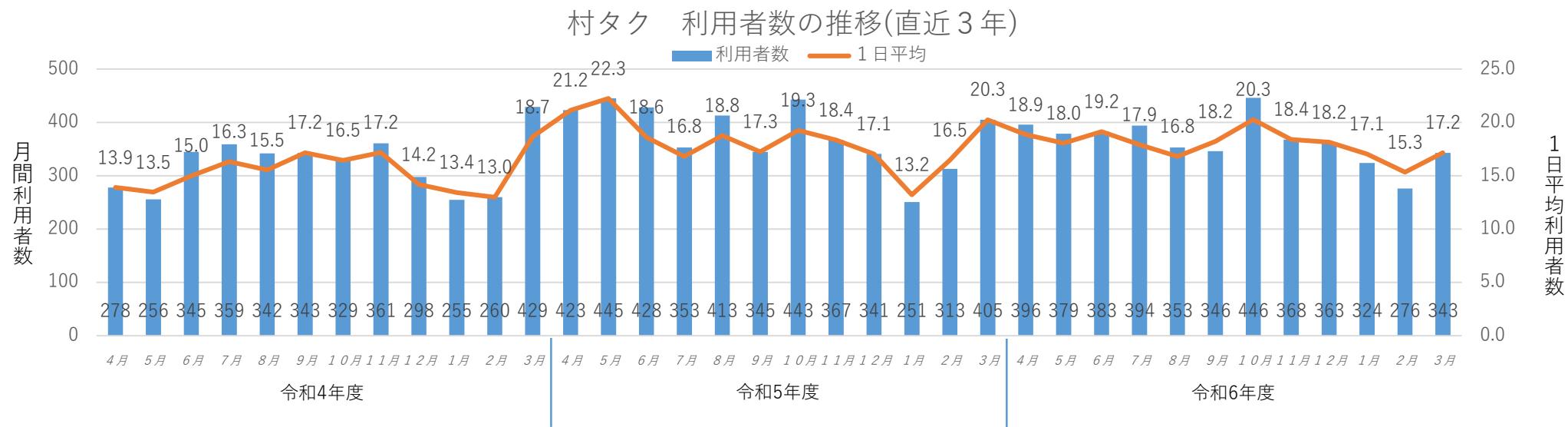
村内一律:300円 村外:500円～3,000円

		運賃額	備考
村内移動	(南山城村内全域 ①)	300円/1人	※1 小学生～高校生は村施策による村民利用割引あり(下部参照)
村外移動	(南山城村 → JR木津駅周辺 ②) (JR木津駅周辺 → 南山城村 ②)	3,000円/1台	※2 村施策による村民利用割引あり(下部参照)
村外移動	(南山城村 → 笠置町内 ③) (笠置町内 → 南山城村 ③) (南山城村 → 島ヶ原地区内 ④) (島ヶ原地区内 → 南山城村 ④)	500円/1人	

注意事項とお願い

- 運賃はすべて片道運行の利用料金となります。
 - 村外移動の「JR木津駅周辺」のご利用は前日予約のみの対応とさせていただきます。
 - 「JR木津駅周辺」とは、駅を中心とした半径300m付近とします。詳しくは、予約センター職員へお尋ねください。
 - お釣りの出ないようご協力をお願いします。
 - 1区間の運賃となりますので、目的地以外へ立ち寄る際は、運賃額が加算されますのでご了承ください。
- ※1 村内在住の小学生～高校生は、村施策により、村内移動が200円／1回となります。
- ※2 村内居住者に限り、村外移動(木津)の利用の際は、お一人での乗車に対し、村の施策により2,000円/1台となります。

村タクの稼働状況



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	利用者数	278	256	345	359	342	343	329	361	298	255	260	429	3855
	1日平均	13.9	13.5	15.0	16.3	15.5	17.2	16.5	17.2	14.2	13.4	13.0	18.7	15.4
令和5年度	利用者数	423	445	428	353	413	345	443	367	341	251	313	405	4527
	1日平均	21.2	22.3	18.6	16.8	18.8	17.3	19.3	18.4	17.1	13.2	16.5	20.3	18.3
令和6年度	利用者数	396	379	383	394	353	346	446	368	363	324	276	343	4371
	1日平均	18.9	18.0	19.2	17.9	16.8	18.2	20.3	18.4	18.2	17.1	15.3	17.2	18.0

村タクの稼働状況(2)

●令和7年度の状況

村内利用が主であるが、必要に応じて村外への利用もある。

利用者の傾向をみていると、村内利用は鉄道駅、村外利用の主な利用者は山間部に居住で、買い物や、入退院という状況のご利用が多い

月	村内利用	利用者数			合計	運行日数	1日平均			
		村外利用								
		笠置町	島ヶ原地区	木津駅周辺						
4月	315	16	14	13	358	21	17.0			
5月	297	6	20	14	337	20	16.9			
6月	331	12	29	19	391	21	18.6			
7月	318	37	23	25	403	22	18.3			
8月	317	38	11	10	376	20	18.8			
計	1578	109	97	81	1865	104	17.9			

村タク拡大による整理事項と相楽東部広域バスとの兼ね合い

①運行日・運行時間

- 運行日：「広域バス」は週7日、「村タク」は週5日。「村タク」は土日の運行がないことが課題。
※村タクの土日運行については、対応を検討中。 Ex)事業者協力型運行等

②ドライバーの確保

- 南山城村では、シルバー人材センターでの雇用者が対応し、笠置町の実証実験では、笠置町として会計年度任用職員を充てる

③広域バスは、加茂へ、村タクは木津・伊賀(島ヶ原)への対応の差

- 木津・加茂での運行はモードの違いにより、運賃差もあるため、実証に併せてそれぞれの役割を再検討

- 地域公共交通会議の開催

R7.10.3 開催予定(第1回)以後、数回の検証、検討機会を設け実証を進めながら翌年度体制を構築、検討する。

- 実証実験による効果検証

R8.2月末に補助事業としての効果検証を行う。

- 笠置町参画による、運行体制の再構築と事業者協力型の検証

R8年度後半の事業実施設計を見据えた体制づくりを行う。